

# 岐阜城天守閣等展示基本計画

---

令和7年3月



# 目次

---

はじめに	1
計画の経緯	1
第1章 岐阜城改修の理念	2
第1節 岐阜城の役割と周辺施設との連携イメージ	2
第2章 展示基本計画	4
第1節 岐阜城天守閣展示コンセプト	4
第2節 改修基本方針	5
第3節 展示構成	5
1. 天守閣1階	6
2. 天守閣2階	8
3. 天守閣3階	10
4. 天守閣4階	11
5. 岐阜城資料館	12
第3章 施設計画	13
第1節 展示環境の課題と今後の方針	13
第4章 体験学習施設について	15
参考資料	
・所蔵展示品の活用について	16
・事業工程	20

## 計画の経緯

岐阜城天守閣は、耐震上の課題により、令和3年度に策定した「岐阜城天守閣耐震化計画」に基づき改修工事の実施設計を行うなど準備を進めています。

耐震補強に伴う建物構造の変化とともに展示スペースも変更となることから、改修工事と併せ展示のリニューアルを行う予定です。

また、岐阜城天守閣に隣接する岐阜城資料館についても、天守閣と同様にリニューアルを行う予定です。本計画は、岐阜城天守閣及び岐阜城資料館の展示リニューアル等について、施設の役割を明確にし、新たな魅力の創出、施設の機能の強化、リニューアル範囲の明確化など、リニューアルの具体化に向け、基本計画を策定することを目的とします。

### 市の方針

#### 【岐阜市未来のまちづくり構想】

～持続可能な観光まちづくり～



### 分野別計画

#### 【岐阜市観光ビジョン】

重点アクションプラン  
(3) 岐阜観光ブランド・魅力創出  
～既存観光資源と新たな観光資源の  
掘り起こしによる魅力創出～



その他関連する分野別計画等  
【岐阜市文化財保存活用地域計画】  
【岐阜市都市計画マスタープラン】  
など

策定・改定



### 個別計画

#### 【岐阜城天守閣等展示基本計画】



関連計画  
【史跡岐阜城跡保存活用計画】  
【史跡岐阜城跡整備基本計画】  
【岐阜城天守閣耐震化計画】  
【岐阜公園再整備基本計画】  
【歴史博物館総合展示室  
リニューアル基本計画】 など

## 第1節 岐阜城の役割と周辺施設との連携イメージ

岐阜市観光ビジョンでは、岐阜城周辺エリアの歴史・文化を活かした魅力や企画の発信・創出を図ることを定めており、その中心的コンテンツとなる史跡岐阜城跡の魅力発信を図るガイダンス施設の充実が課題といえます。

ガイダンス施設の現状として、山上部では、岐阜城天守閣の耐震補強工事が行われた場合、展示面積の縮小は避けられません。また、山麓の発掘案内所は、暫定的な施設で展示面積もわずかです。ガイダンス機能の現状、不足している機能を踏まえ、今後、岐阜城跡の情報を適切にガイダンスする機能を向上させていくためには、必要な機能を整理し、機能発揮のために効果的な配置を検討する必要があります。

これまでの調査成果を踏まえると、史跡岐阜城跡においてガイダンスすべき主な内容は、以下のとおりに整理できます。また、ここでは戦国時代・織田信長・岐阜城を目的とする観光客がどのような動線をたどるかを想定した上で、周辺施設との連携イメージを示します。

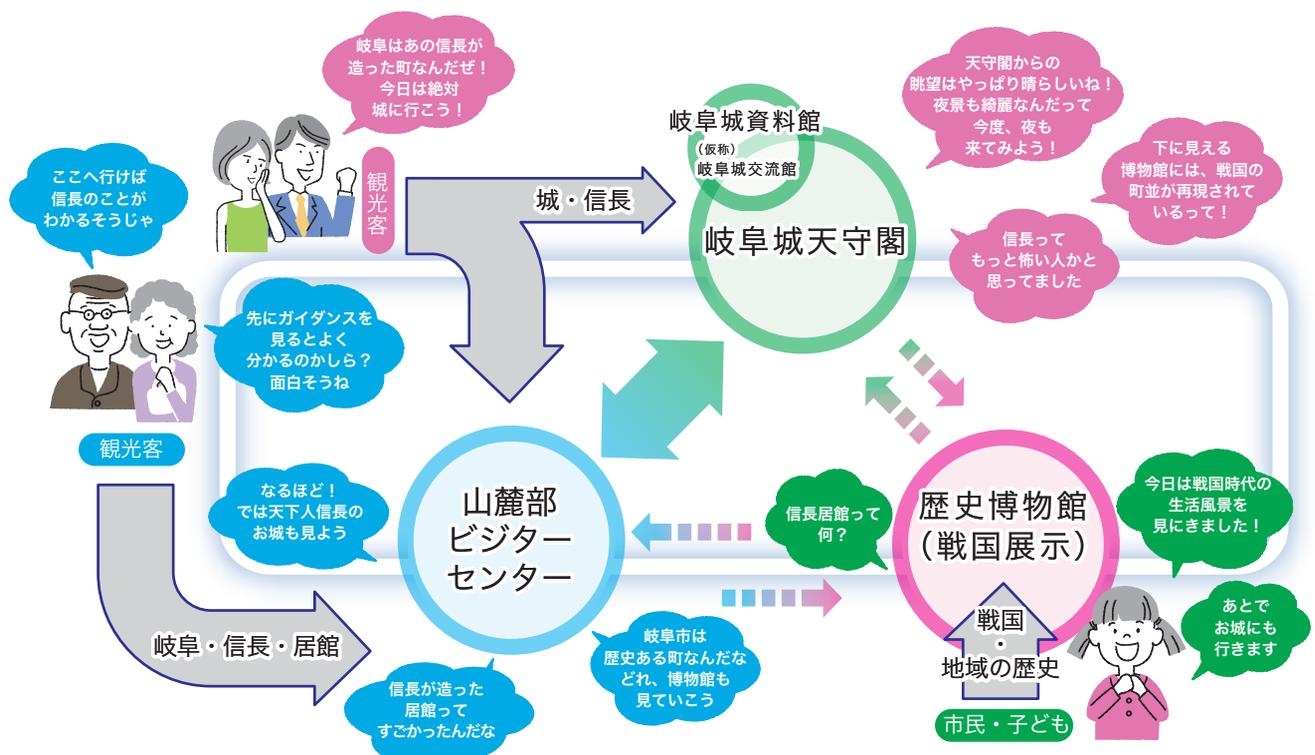


岐阜城天守閣のガイダンス機能の整備においては、山城の「眺望」に重きを置き、山上から四方に視みをきかせながら天下統一を目指した信長公の心中に思いを馳せ、あるいは、眺望でもてなされた客人の気分を味わうことができる、戦国時代を追体験できるような展示とします。

また、Park-PFIによる岐阜城楽市の整備やインバウンドにより、増加が見込まれる来城者に対し、分かりやすく、インパクトのある内容とし、狭小空間を効率的に巡っていただける展示を目指します。

なお、岐阜城資料館は、(仮称)岐阜城交流館として、無料休憩スペースを主要用途とした整備とします。

### 岐阜公園来訪者の想定される動き



## 第1節 岐阜城天守閣展示コンセプト

「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町の構成文化財であり、本市のシンボルである「岐阜城天守閣」は、令和7年で復興天守（2代目）再建69年を迎えるなか、平成30年度から始まった山上部の発掘調査により、当時の石垣、城郭の姿が判明しつつあり、そのルーツは齋藤道三公、織田信長公の時代にさかのぼることが明らかになってきました。

本計画では、発掘調査を通してその全貌がつまびらかになりつつある道三公時代の稲葉山城、信長公時代の岐阜城の姿に本質的に迫り顕在化することで、岐阜城が近世城郭の成立を考える上で重要な城であることを伝え、信長公の城造りを体感できる空間を創出します。

また、信長公に「おもてなし」を受けた当時の人々が残した文献等から信長公の人となりを読み取り、信長公が天下人を目指した歴史、岐阜での生き様、人物像、エピソードを解説します。そして、岐阜城に込めた信長公の思想など様々な視点で紐解いていきます。

### ストーリー

遙か昔の戦国時代、信長公が岐阜城より見た眺望は、彼の意識を天下人へと誘ったと思えるほど、素晴らしい景観であり、その姿は現代にとっても今なお息づいています。

来城者は、各階で信長公や歴史を彩った人々の息づかいを感じながら天守閣最上階へ上っていく・・・展望階から眼下に広がる平和の世の景観は、信長公が掲げた天下布武の情熱が現代に継承された姿であり、彼と同じ目線で眺望を見て、感じ、この岐阜の地での“おもてなし”にふれていただきます。

### コンセプト

## 岐阜城の真の姿に迫り 信長公とともに天下を夢みる

信長公が天下統一に向け、駆け抜けた時代と岐阜城での“おもてなし”を共感する。  
信長公が令和の世にあれば、来城者にきっと話しかけたことでしょう・・・

「岐阜へ何度でも訪れよ」と。

## 第2節 改修基本方針

### ① 信長公の城造り

調査の積み重ねから、信長公時代の天守台石垣が発見されたことにより、「天守」の存在や、天守南通路西側の調査から、「饗応施設」や「庭園」があった可能性も考えられるなど、新たな山上部施設の姿が明らかになりつつあります。戦国時代に繁栄した岐阜城の歴史や意義、魅力を明らかにしていきます。

### ② 信長公のおもてなし

日本遺産「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜の原型となった「おもてなし」を解説します。山上部でのおもてなしに特化し、信長公の人物像を考察します。

### ③ 天守閣からの眺望

軍事拠点に「魅せる」要素を取り入れた岐阜城郭。そして今も残る城下町や自然景観など、天守閣から望む壮大なパノラマ眺望を体感していただきます。

## 第3節 展示構成



## 1. 天守閣1階

### フロアテーマ 天下への起点 岐阜城歴史の間

信長公は、清須城で尾張を統一し、小牧山城を足掛かりにして美濃へと移りました。そして、斎藤家三代の城であった稲葉山城を改修して「岐阜城」を築き上げ、「天下」へと飛躍しました。その後、岐阜城は織田家三代の城となります。信長公が名付け、繁栄を極めた岐阜城の基本情報、関係した武将を分かりやすく紹介するフロアとします。

#### 展示構成

### 1-1 岐阜城の歴史と歴代城主

斎藤道三公が、稲葉山城を築城、城下町の整備に着手しました。

信長公の美濃入り後、町の名をそれまでの「井口（いのくち）」から、「岐阜」に改め、(城も稲葉山城から岐阜城に改名)「岐阜」における新たな国作りが始まります。金華山一帯に広がる山城として栄え、関ヶ原の戦いによる廃城に至る歴史を歴代城主とともにグラフィックなどを用いて分かりやすく紹介します。



〈イメージスケッチ〉

## 1-2 信長の居城の変遷

信長公が居城した城の変遷の解説をします。尾張から美濃、近江へと居城を何度か替えていき、その度に築城技術が発展していきました。信長公の城造りの共通点、居城ひとつひとつが中世からの転換を象徴する城であり、各城の構造から読み解ける信長公の城造りの技術と、そこから見える思想に迫ります。

### ● 清須城

- ・尾張の中心に位置する室町時代の伝統的な城郭。方形の平城で二重堀と庭園が築かれるなど、雅な造りであったと考えられる。
- ・天守に相当する建造物はなく、清須在城時に上洛した時に目のあたりにした将軍居館が、後の信長公城造りのイメージを形成したかもしれない。

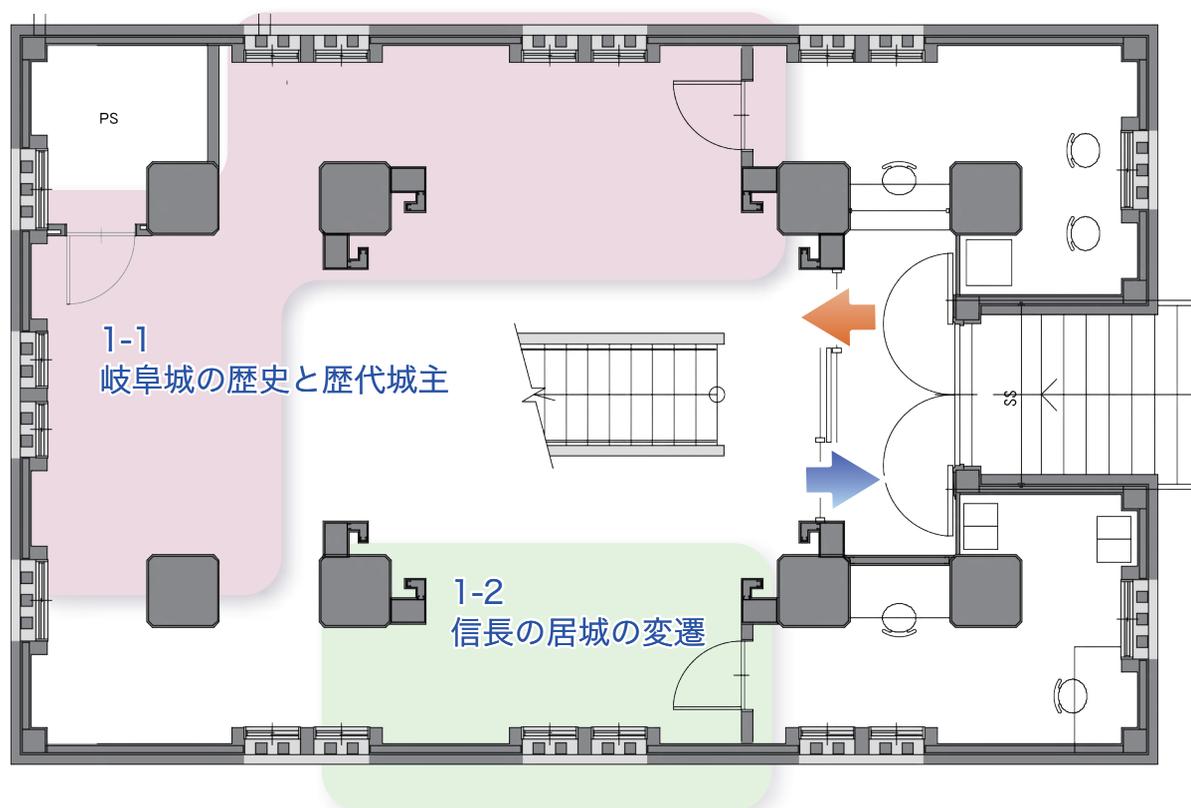
### ● 小牧山城

- ・永禄6年（1563）美濃攻略のために標高86mの小牧山に築城した山城。信長公が一から造り上げた最初の城郭。
- ・山頂に主郭を築き、周りを三重構造の石垣で固め、山麓東、北側に侍屋敷を配置、山麓東南側に信長公の居館があったと考えられ、小牧山城は信長公の居城のあり方を具現化した城であることを紹介。

### ● 安土城

- ・信長公築城の地下1階、地上6階建ての豪華絢爛な巨大天守閣。城郭は全て石垣で普請され、既存の城とは違う画期的な城であったと推測。
- ・本丸御殿は内裏の清涼殿を模したとされ、天皇を迎えるための施設だったとされるなど、規模、意匠、役割共に信長公の権力と思想を象徴する大城郭だったと考えられる。

## ゾーニング



1階

## 2. 天守閣2階

### フロアテーマ 天下布武 信長の間

岐阜城は、眼下に広がる濃尾平野、美濃の山々の景観と清流長良川、そして今も残る城下町の雰囲気とあわせ、他の城とは一線を画す眺望を望める城といえます。その眺望を見た信長公は何を想い、どう影響を受けたのか・・・信長公にとっての岐阜城とは何を意味しているのかを考察するフロアとします。

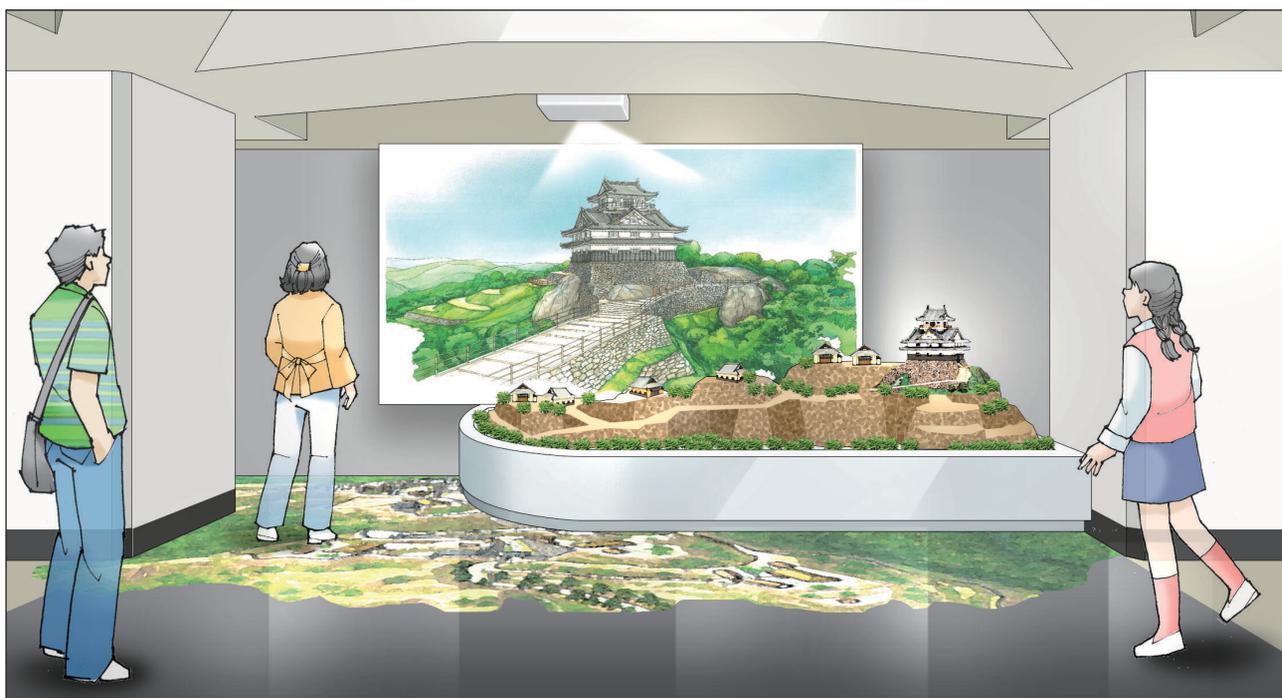
#### 展示構成

### 2-1 山上部城郭の紹介

岐阜城山上部の城郭をメイン展示とし、山上部城郭の構造を再現します。

稲葉山城を改修のうえ岐阜城と改め、山頂部に後の天守につながる中心施設のほか、客人をもてなす饗応施設などをつくりました。さらに山全体を要塞化し魅せる城としても演出し天下統一に向かう信長公にふさわしい城を築きました。

山上部城郭の構造から信長公の築城思想の原点に迫ります。



〈イメージスケッチ〉

### 2-2 信長と岐阜城

父信秀公の代からの悲願であった稲葉山城を攻略した信長公は、この地を「岐阜」と改め、新しい城造りに邁進します。道三公の影響も多く受けながら発展させ岐阜城を完成させました。

道三公の稲葉山城を利用発展させた信長公は、道三公の築城技術を引き継ぎつつ、魅せる城、天下を目指す城として岐阜城を築き上げ、後の安土での築城思想の原点にもなったことを紹介します。

また、天守や近年明らかとなった庭園などの整備を通して読み取れる、信長公の想いについて紹介します。

### 2-3 信長エピソード

信長公は、山上、山麓で有力者へ“おもてなし”をしています。本展示では、山上での出来事に特化し、おもてなしを受けた宣教師ルイス・フロイス、朝廷使者山科言継とのエピソードを中心に展開します。

『日本史』『言継卿記』などに垣間見られる信長公の「おもてなし」では、信長公自身がおもてなししたことや、珍品の贈答など「驚き・サプライズ」好きな信長公の姿が見えてきます。信長公の素の姿や、高度な政治手腕などのエピソードから人物像を考察し、最上階への期待感を高める展示にします。

#### ルイス・フロイス

- キリスト教保護を求めるための来訪
- ・豪華な座敷の確認（黄金の屏風、2000本の矢）
  - ・美濃と尾張の大部分を見せられる
  - ・2時間半もしくは3時間話続ける
  - ・話の半ばで信長公の息子に晚餐の支度をうける
  - ・衣服の贈り物を受け、その場で着る
  - ・重臣柴田勝家に城内の案内を受ける

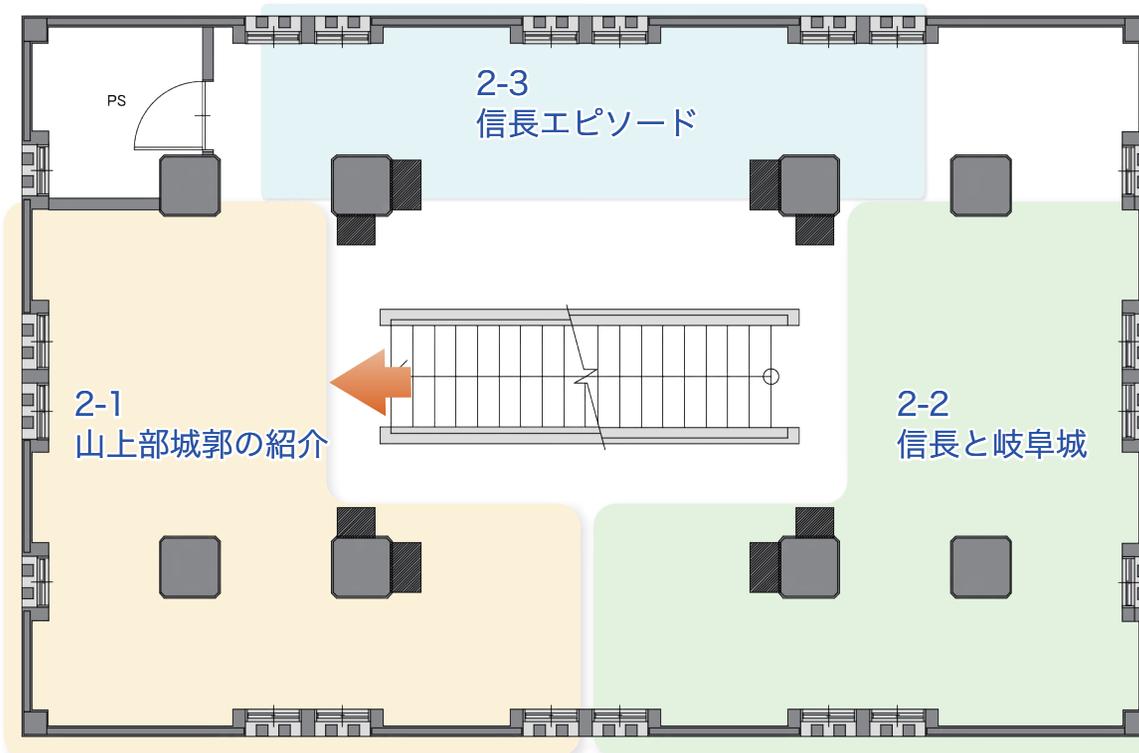
#### 山科言継

- 天皇の行事開催の資金集めのために来訪
- ・10人以上を夕食会に招く
  - ・饗応、食膳の給仕は信長公が行う
  - ・城内の案内を受ける
  - ・山上からの眺めを絶賛する



信長公の「おもてなし」は他の戦国大名とは一線を画しています。信長公は自ら給仕するなど、異国民である宣教師にも同じ待遇で接することができた柔軟な考えを持つ人物だったと考察できます。信長公が持ついろいろな顔を紹介することで、現在も続く岐阜の「おもてなし文化」の始まりを感じていただきます。

#### ゾーニング



### 3. 天守閣3階

#### フロアテーマ **天下眺望<sup>いざな</sup> 誘いの間**

インスタレーションなどで、驚き、感動、高揚感を感じてもらいながら最大の見せ場である展望階へ誘うフロアとします。

#### 展示構成

#### 3-1 Gifu イメージ

規制上、展示不可のフロアとなります。解説展示「起」「承」を中心とした下層階から、眺望を展示の中心とした最上階「結」への「転」を表現します。

昼と夜で演出変化、照明、音響などの演出で、展望階への期待を高めます。

意匠替え、イベントに対応できる可変性のある空間作りとします。

#### ●昼の演出イメージ



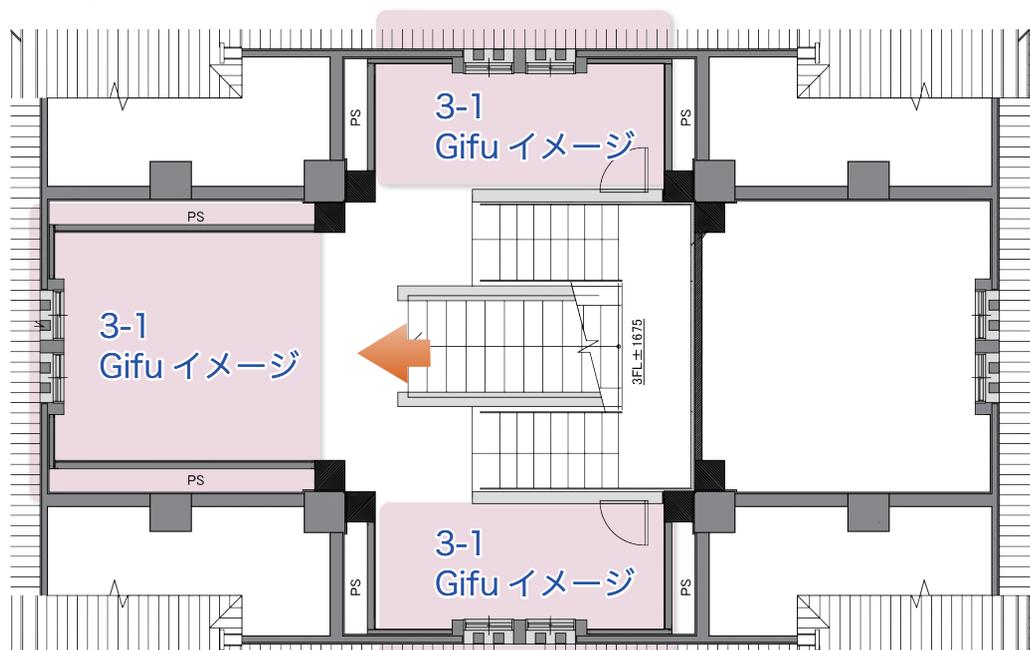
〈イメージスケッチ〉

#### ●夜の演出イメージ



〈イメージスケッチ〉

#### ゾーニング



※展示不可フロア

3階

## 4. 天守閣4階

### フロアテーマ 天下夢みる 眺望の間

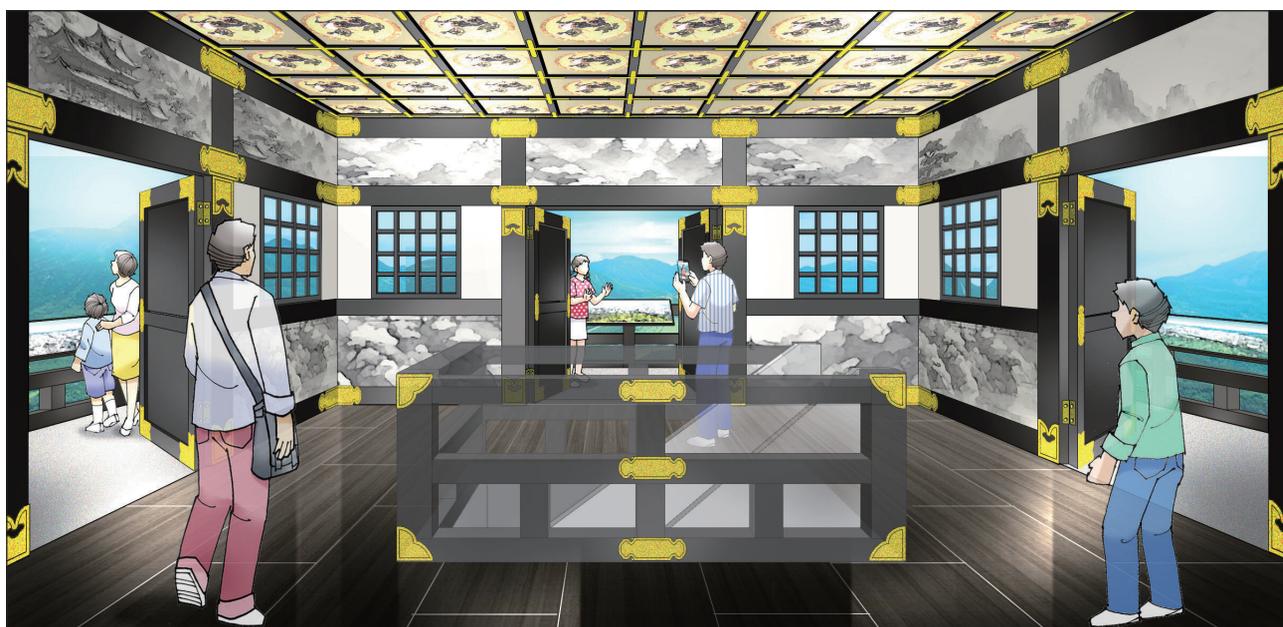
信長公の居室をイメージした上質な設えとし、信長公が戦国時代に見たであろう景色を共有、共感できるフロアとします。

#### 展示構成

#### 4-1 眺望の間

規制上、展示不可のフロアとなります。天守閣最上階は、信長公が居城した時代をイメージした内装とします。また、展望バルコニーでは、景観解説をパネル等を用いて紹介します。

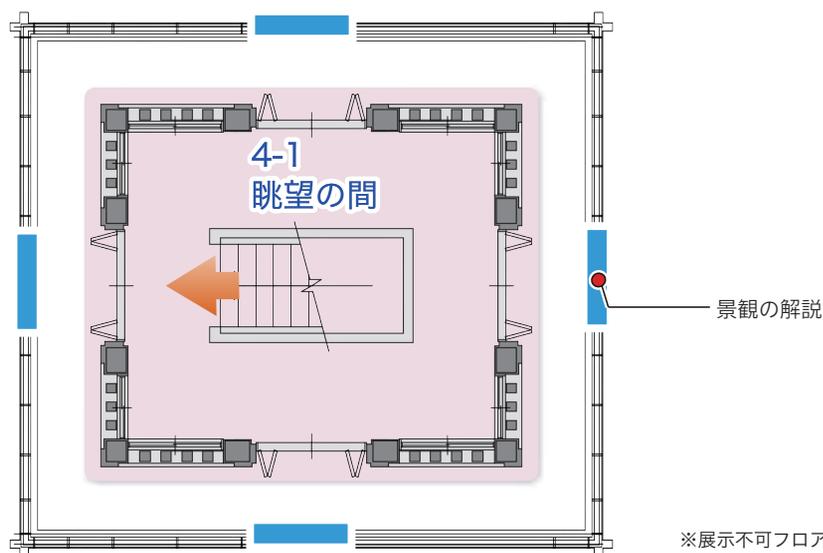
景観を主体としたフロアとし、山科言継の「嶮難風景言語不可説」（嶮難の風景、言語に説くべからず）にあるように岐阜城から望む360度パノラマの眺望の素晴らしさを、最高の「おもてなし」を表現し、来城者に信長公と同じ空間を共有していただきます。



〈イメージスケッチ〉

#### ゾーニング

出入口は南北の2カ所まで  
閉鎖可能



## 5. 岐阜城資料館

### フロアテーマ (仮称) 岐阜城交流館

無料休憩スペースを主要用途とします。

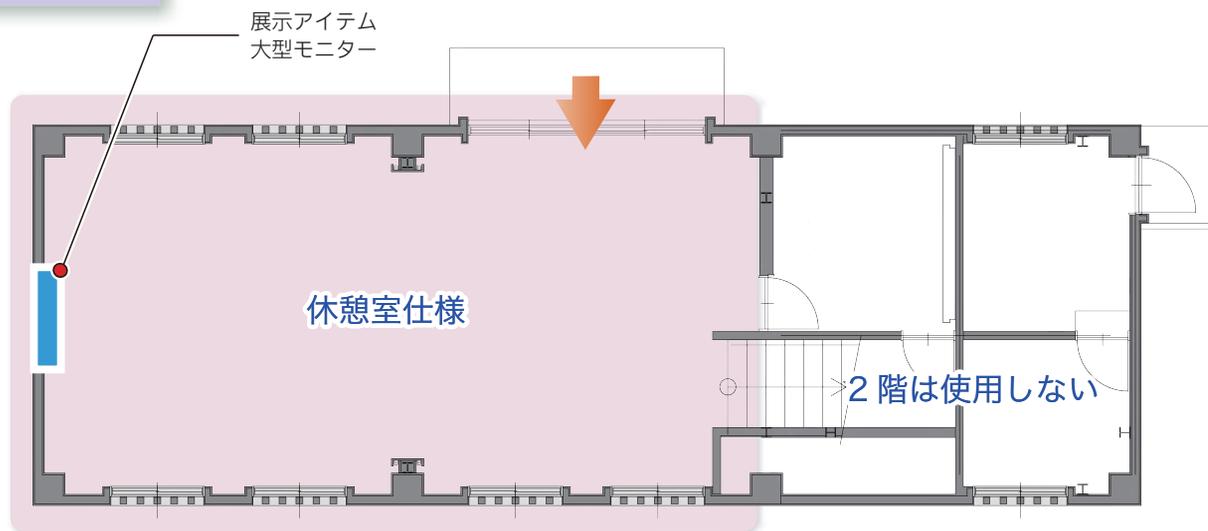
必要に応じて市や市民などが占有利用可能なイベントスペースとしても活用します。

- 椅子など備品整備、観光情報案内及びイベント時に活用可能な大型モニターを整備。



〈イメージスケッチ〉

### ゾーニング



現：岐阜城資料館

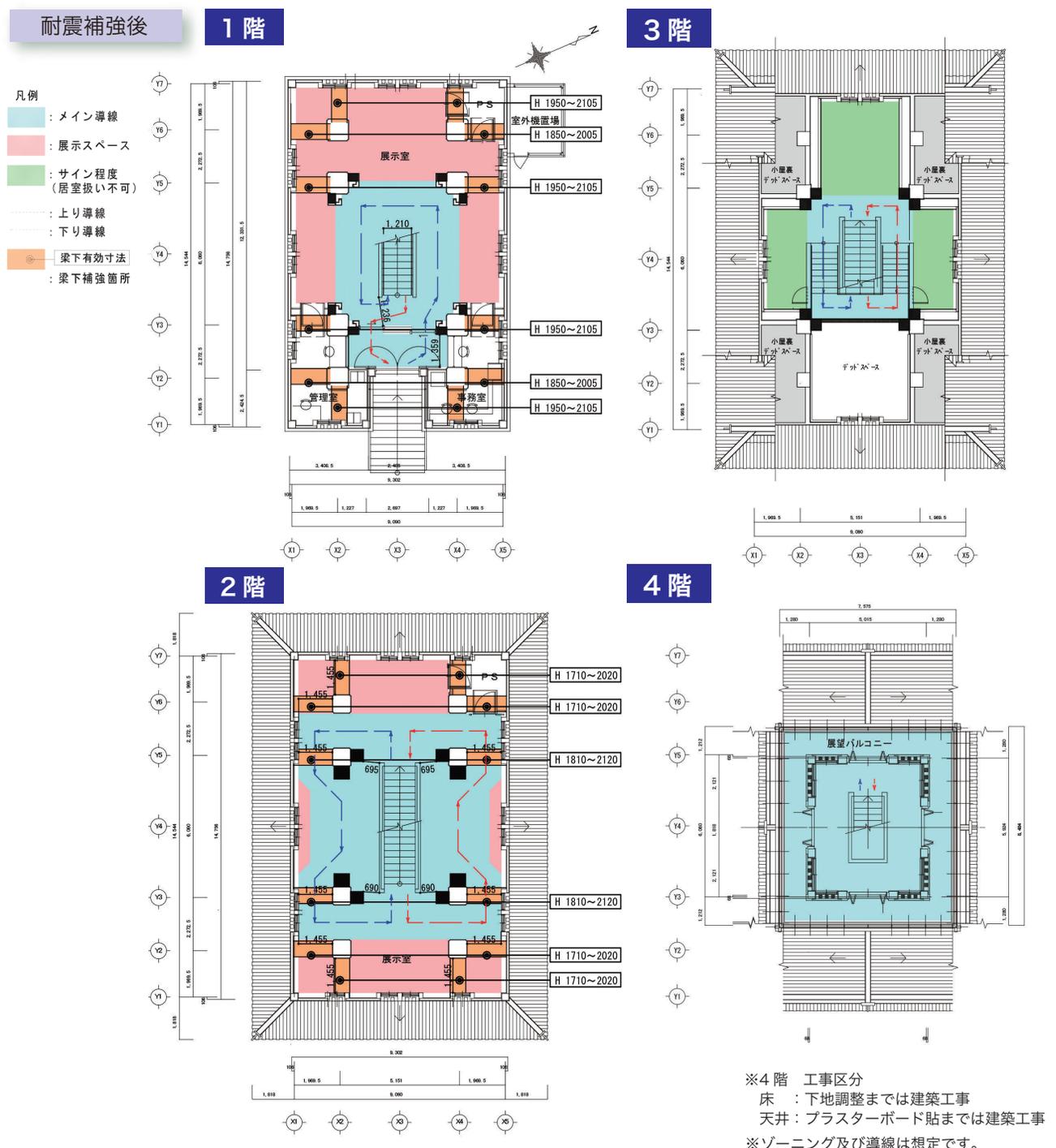
## 第1節 展示環境の課題と今後の方針

### ● 耐震工事

平成30年度に耐震診断を実施した結果、耐震性能が不足している階層があることが判明しました。

2代目復興天守が担ってきた「城としての認知」「資料館」「展望施設」「観光施設」そして「金華山と一体の景観」「地域のシンボル」としての機能・役割を極力保つため、また、文化的景観の重要な構成要素としても重要な役割を担っていることから、外観と4階からの眺望を保全できる内容とする耐震化を含めた改修工事を行います。

耐震補強に伴う建築構造の変化があるため梁下、通路幅など制限が出ることを留意して設計にあたります。



## ● 展示ケース

展示ケースは必要な場合、全て新設となります。

所蔵品は「複製展示品」が中心となりますが、展示品にふさわしいケース造作設計を施します。

## ● 照明機器

基本照明及び配線ダクトレールは、建築工事で施工しますが、スポットライト他展示、演出に係わる照明に関しては展示工事で施工となります。照明機器は全て、消費電力の少ないLEDとします。

また、演出照明を取り入れることも可能であり観光の拠点として、ふさわしい演出照明計画を施します。

※建築施工の基本照明は展示設計時に建築業者と協議が必要となります。

## ● ユニバーサルデザイン及び安全性についての留意点

狭小空間のため動線がスムーズに流れるよう、解説は直感的にわかりやすい内容を基本とし、読みやすい位置、わかりやすい内容、判断しやすい色や書体を選定します。造作関係も突起物は無くし来城者への安全性を高めます。

- 文字解説情報は、来城者全てに見やすくなるよう配慮すること。解説グラフィックは、来城者の「年代」「興味深度」「時間的制約」などを考慮して展開。文字、写真等読み込みが必要な情報は適切なレイアウトを施し、イメージ写真、イラストもグラフィカルでわかりやすい形で構成。
- 配色・書体にも留意し、色覚に障害がある方、高齢の方などにも読みやすい字体とする。
- 来城者が触れる造作物、什器などは、形状に起因する破損等で怪我がないように設計時に照査技術者によりチェックをおこなったうえで制作。

インバウンドに対応する多言語案内も必須となります。

狭小空間内での解説情報が乱雑にならないように、外国語表記はQR等を用いわかりやすい展示を目指します。なお、市内回遊促進のために岐阜市歴史博物館等と同仕様展開とすることも留意します。

- 文化財の多言語化ハンドブック（文化庁）を参考とする。
- 解説パネルはタイトル、中項目は英文表記し、多言語についてはスマートフォンを利用していただくなど調整。



〈参考例〉

## ● メンテナンス計画

展示設備の仕様については、照明などの消耗品の種類を極力限定し、また展示設備の修繕が容易にできるような汎用性の高い設備の導入や修繕範囲が限定的になるような工夫をおこなうなど、日常的な管理運営、修繕を念頭に置いた整備とします。

また、年数の経過により展示変更に対応できる展示設備の整備を行います。

## ● 入口サイン

経年劣化がみられる入口サインの改修を行います。基礎は流用し、新しい岐阜城にふさわしい意匠とします。

掲示機能は開館時間の情報に加え、イベント等の情報を発信できる機能を有することとします。



〈イメージスケッチ〉

岐阜城天守閣は来訪者が文化、自然などに関する体験などを行うことができる体験学習施設とします。

### ● 文化について

岐阜城が辿った歴史を学ぶことで、岐阜というまちがつけられた過程を知ることができます。信長公が行ったもてなしを知ることにより、長良川の鶴飼い、城下町などに今もなお受け継がれているおもてなしの精神性の文化を知ることができます。

岐阜のシンボルである岐阜城のより深い理解から、岐阜のまち全体、人々の営みについてより深く学ぶ事に繋がります。

### ● 体験について

階層を活用した展示計画から、階層があがっていくとともに進んでいく岐阜城山上の時代のながれと、信長公がもてなした客人のように最上階への期待が募っていく気持ちを体感することができます。そして最上階からみえる濃尾平野、金華山、長良川の壮観を目にすることで、信長公が夢見た天下、歴史が現代のまちへとつながっていった文化を肌で体感することができます。

### ● 緑豊かな環境の中で

金華山の山上に位置し、長良川を望む岐阜城天守閣は、その自然を活かしまちが栄えたことを知らしめてくれます。山全体を魅せる城とし、水運で城下町が栄えていったこと、自然からもまちが栄えていった背景を読み取っていくことができます。



## まとめ

岐阜城天守閣は、岐阜城郭山上の歴史を学びながら、岐阜のまちの文化を肌で体感することができる体験学習施設とします。

岐阜公園に訪れる人々は、金華山や長良川、多くの自然の中にある岐阜城天守閣に、ロープウェイや山登りなど、豊かな自然に触れながら自らの足で向かうことができ、岐阜城天守閣内展示では、岐阜城の歴史や信長公が城に込めた想いを感じることができます。

また、信長公がもてなした客人のように、階段を上るとともに募っていく心情を追隨する体験ができます。天守閣最上階から濃尾平野、長良川、美濃の山々の壮観を肌で感じることで情報として目にしてきた岐阜の歴史が、現実の岐阜の町並みに受け継がれ、今もなお存在していることを体感することができます。

## 所蔵展示品の活用について

### ● 展示品リスト

岐阜城・岐阜城資料館で所蔵している資料から選出した「岐阜城」「歴代城主」「関連性の高い展示品」のリストです。適宜、展示ストーリーに組み入れ活用することも可能です。

資料展示に際し、適切なケース造作を施し資料の保全にも努めます。

No.	名称	種類	時代	備考
<b>A. 岐阜城関係資料</b>				
A1	岐阜城絵図 01 名称不明	?	?	原本 所蔵者不明
A2	岐阜城絵図 02 名称不明	?	?	原本 所蔵者不明
A3	慶長 5 年 8 月 23 日 岐阜城攻略図	複製	戦国時代	原本 笠松町所蔵 伝加納藩主奥平家所蔵
A4	岐阜城郭ジオラマ	模型	平成時代	寄贈物・ケース入
<b>B. 織田信長関係資料</b>				
B1	伝織田信長所用尻鞆	複製	?	原本 所蔵者不明
B2	天下布武の印	複製	安土桃山時代	原本 所蔵者不明
B3	織田信長坐像	複製	安土桃山時代	原本 京都府 大徳寺総見院所蔵「本能寺の変」一周忌に作成と伝わる
B4	伝織田信長所用 青貝入黒漆塗鞍	?	安土桃山時代	原本 所蔵者不明
B5	永禄 11 年 9 月 加納宛織田信長掟書（制札）	複製	安土桃山時代	原本 岐阜市 円徳寺所蔵
B6	永禄 10 年 9 月 北加納宛織田信長掟書（制札）	複製	安土桃山時代	原本 岐阜市 円徳寺所蔵
B7	永禄 10 年 10 月 楽市場宛織田信長掟書（制札）	複製	安土桃山時代	原本 岐阜市 円徳寺所蔵
B8	織田信長像	模造	平成時代	岐阜市信長公 450 プロジェクト時製作信長衣装人形
B9	織田信長衣裳	模造	令和時代	令和 2 年大河ドラマ『麒麟がくる』信長役衣裳
B10	京都南蛮礼拝堂の織田信長画像	実物	昭和時代	資料経緯不明
B11	織田信長甲冑	模造		資料経緯不明
B12	織田信長甲冑	模造		資料経緯不明
<b>C. 織田家関係資料</b>				
C1	打ち掛け	模造	平成時代	平成 4 年大河ドラマ『信長』濃姫役衣裳
C2	織田信忠判物	複製	安土桃山時代	原本 個人所蔵（岐阜県歴史資料館寄贈）
C3	織田信孝黒印状	複製	安土桃山時代	原本 個人所蔵 天正 10 年伏屋市兵衛あて
C4	織田秀信判物	複製	江戸時代	原本 岐阜市 妙照寺所蔵
C5	伝織田秀信所用鳥帽子型兜	複製	安土桃山時代	原本 岐阜市 円徳寺所蔵
C6	伝織田秀信画像	複製	江戸時代	原本 岐阜市 円徳寺所蔵
C7	慶長 5 年 8 月加納寺内宛 織田秀信禁制（制札）	複製	江戸時代	原本 岐阜市 円徳寺所蔵
<b>D. 斎藤家関係資料</b>				
D1	弘治 2 年 4 月 19 日付 児齋斎藤道三遺言状	複製	室町時代	原本 個人所蔵（大阪城寄託）
D2	斎藤道三判物	複製	室町時代	原本 岐阜市 浄安寺所蔵
D3	斎藤義龍判物	複製	室町時代	原本 岐阜市 浄安寺所蔵
D4	斎藤道三像	模造	令和時代	令和 2 年大河ドラマ『麒麟がくる』道三役衣裳人形
D5	斎藤道三兜	模造	令和時代	令和 2 年大河ドラマ『麒麟がくる』道三役小物
<b>E. 関連関係資料</b>				
E1	地球儀	実物	江戸時代	原本 岐阜市所蔵 南蛮文化イメージとして展示可能か
E2	遠眼鏡	実物	江戸時代	原本 岐阜市所蔵 南蛮文化イメージとして展示可能か
E3	世界地図	実物	江戸時代	原本 岐阜市所蔵 南蛮文化イメージとして展示可能か
E4	火縄銃	実物	江戸時代	原本 岐阜市所蔵（個人より寄附） イメージとして展示可能か
<b>F. 他城主関係資料</b>				
F1	二階堂行藤画像	複製	鎌倉時代	原本 関市 新長谷寺所蔵

### ● その他

「メタバース岐阜城」に係わる動画並びに静止画

動画の加工・編集等の利用は別途費用が必要

A. 岐阜城関係資料



A1 岐阜城絵図 01 名称不明



A2 岐阜城絵図 02 名称不明



A3 慶長5年8月23日 岐阜城攻略図

B. 織田信長関係資料



A4 岐阜城郭ジオラマ



B1 伝織田信長所用尻鞆



B2 天下布武の印



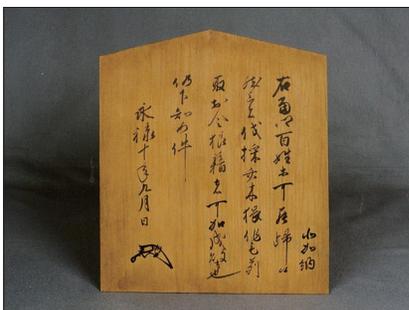
B3 織田信長坐像



B4 伝織田信長所用 青貝入黒漆塗鞍



B5 永禄11年9月 加納宛織田信長掟書 (制札)



B6 永禄10年9月北加納宛織田信長掟書 (制札)



B7 永禄10年10月楽市場宛織田信長掟書 (制札)



B8 織田信長像



B9 織田信長衣裳



B10 京都南蛮礼拝堂の織田信長画像

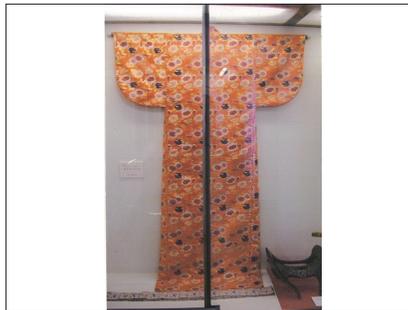


B11 織田信長甲冑

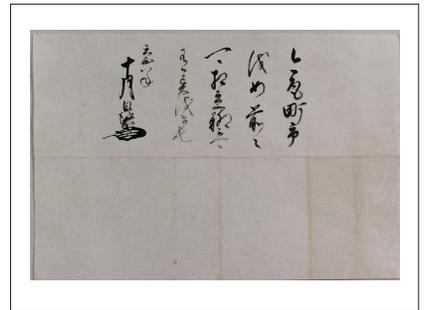
C. 織田家関係資料



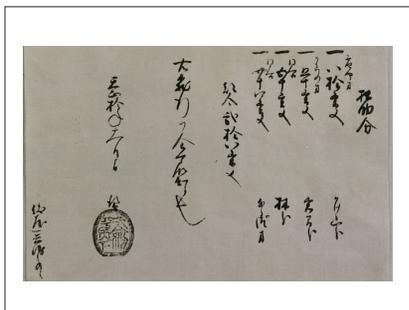
B12 織田信長甲冑



C1 打ち掛け



C2 織田信忠判物



C3 織田信孝黒印状



C4 織田秀信判物



C5 伝織田秀信所用鳥帽子型兜

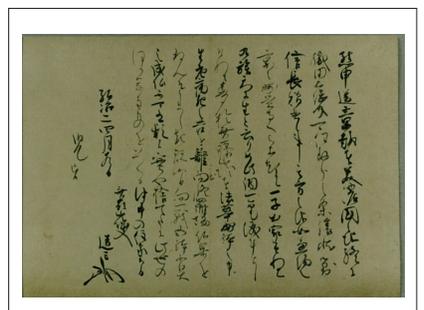
D. 斎藤家関係資料



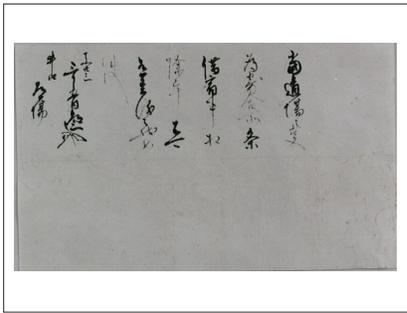
C6 伝織田秀信画像



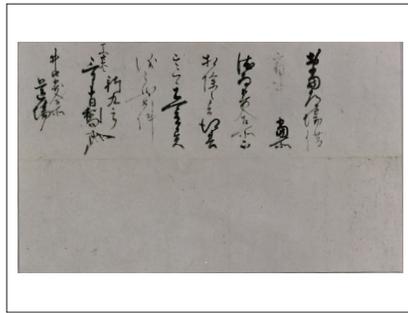
C7 慶長5年8月加納寺内宛織田秀信禁制(制札)



D1 弘治2年4月19日付 兒死斎藤道三遺言状



D2 斎藤道三判物



D3 斎藤義龍判物



D4 斎藤道三像

### E. 関連関係資料



D5 斎藤道三兜



E1 地球儀



E2 遠眼鏡

### F. 他城主関係資料



E3 世界地図

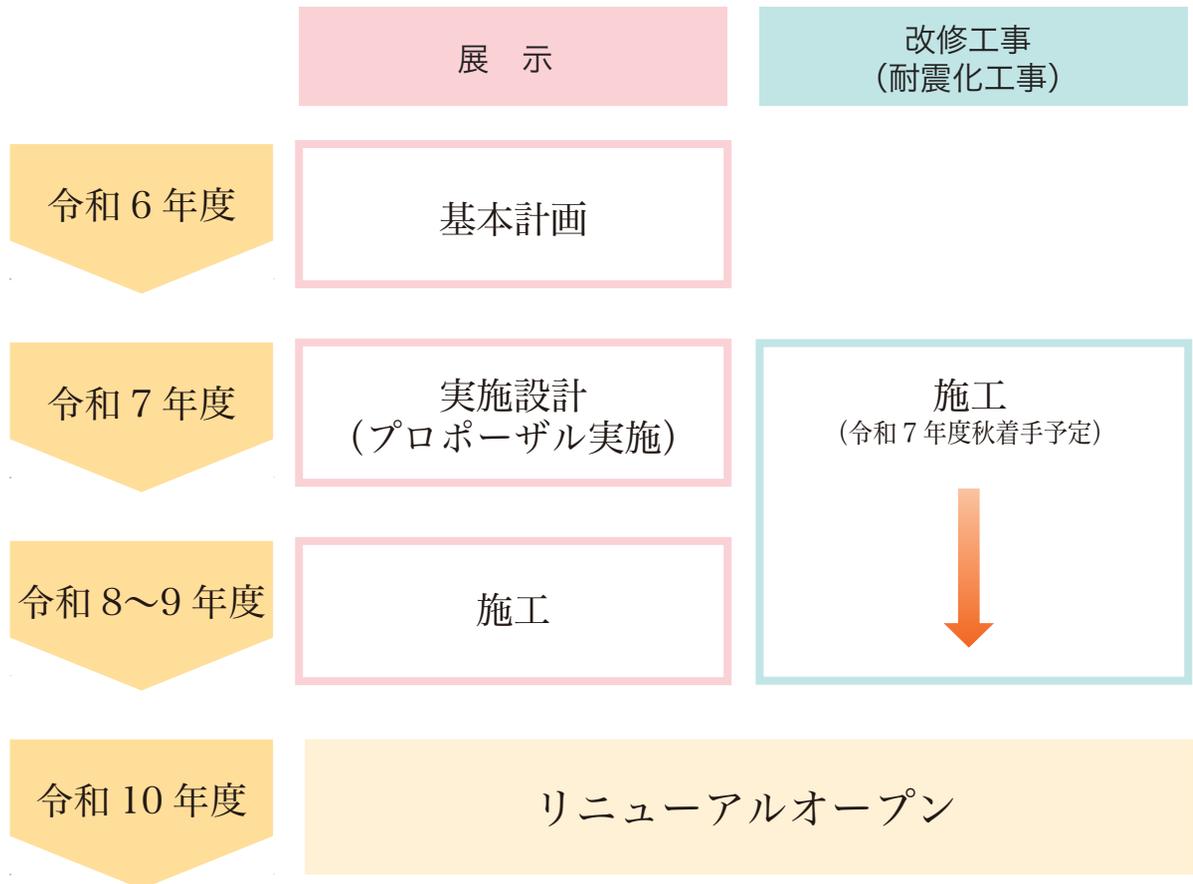


E4 火縄銃



F1 二階堂行藤画像

## 事業工程



岐阜城天守閣等展示基本計画  
令和7年3月  
岐阜市 ぎふ魅力づくり推進部 観光コンベンション課